

昭和レトロな街 鶴見を歩く

日 時：10月21日（土）9:00～9:15 集合

コース：JR 鶴見駅西口（WC）→總持寺（WC）→国道駅→生麦魚河岸通り→鶴見川河口干潟→道念稲荷神社
 →生麦事件発生場所→神明社→生麦事件碑→キリンビール横浜工場（WC）
 →京急 生麦駅 解散（12時頃） [徒歩約5km]

No	見 所	由 来 ・ 史 跡
1	總持寺	曹洞宗の大本山。元亨元年（1321）に石川県に創建されたが、明治31年（1898）火災で焼失。明治44年（1911）に現在地に移転。千畳敷の大祖堂の大屋根は区内外の各所から見られ、鶴見の象徴となっている。約50万平米の広大な敷地（横浜球場の約20倍）に50余の堂塔と豊かな緑。四季折々の風情があり、散策に訪れる人も多い。墓地には石原裕次郎、アントニオ猪木など著名人の墓もある。
2	国道駅	鶴見線は、全長わずか9.7kmの都会の中のローカル線。大正15年（1926）に貨物線としてスタート。昭和5年（1930）に旅客輸送を開始し、京浜工業地帯の発展と共に大勢の通勤客を運んだ。国道駅は、昭和レトロな雰囲気の無人駅。
3	生麦魚河岸通り	生麦は江戸時代、幕府に魚を献上する御菜8か村の一つとしてにぎわっていた。約400mの魚河岸通りは、家の間を網の目のように白い貝殻道が続いている。
4	鶴見川河口干潟	この辺りでは、約30年前までは1日約10トンのハマグリなどを加工しており、貝殻浜はその貝殻が川岸に積もってきたといわれている。貴重な河口干潟を残しながら親水広場が整備され、平成23年、第5回横浜・人・まち・デザイン賞で、「まちなみ景観部門」を受賞した。ここから道念稲荷神社へ至る途中に、生麦水神宮があり、生麦漁業協同組合と生麦魚介類商業組合の碑がある。
5 7	道念稲荷神社、神明社	原の神明社と本宮の道念稲荷社の2か所に数百年前から伝わる「蛇も蚊も祭り」は、横浜市指定無形民俗文化財。生麦が農漁村であったころの雨乞い祈願の行事で、悪疫を追い出し豊漁も祈った。萱で作った20mもの大蛇を担ぎ、「蛇も蚊も出たけ 日よりの雨け 出たけ、出たけ」と威勢よく町内を練り歩く。毎年6月第1日曜日に行われる。
6 8	生麦事件発生場所、生麦事件碑	「生麦事件」は、文久2年（1862）薩摩藩主の父・島津久光の行列が生麦村を通行中、馬に乗って行列に紛れ込んだ4人の外国人の1人、英国商人リチャードソンが警護の武士に斬り殺されたもの。幕末の動乱期に起こった外国人殺傷事件は、賠償問題から薩英戦争にまで発展。その後の日本外交に大きな影響を与えた。明治16年（1883）、鶴見の黒川荘三がリチャードソンの死を悼み、事件の風化を防ぐために私費を投じ、生麦事件碑を建立。地元顕彰会が毎年8月21日に記念祭を行っている。横浜市登録文化財。
9	キリンビール横浜工場	明治3年（1870）米国人コーブランドが山手に醸造所をつくったのが日本のビール発祥で、これをキリンビールが引き継いだ。関東大震災で被災し、生麦に移転した。工場見学以外でも、ノミモノ・ラボでは自分好みのビールを作るバーチャル体験ができ、現在、キリン横浜ビアホールの10パーセント割引券がもらえる。

本コースは、道幅・歩道が狭いところがあるので、横に広がらないようにご協力をお願いします。

<次回案内>

色づく街 藤沢を歩く

11月18日（土） 小田急江ノ島線 藤沢本町駅 改札前集合 9時00分～15分

スタッフ募集中 ! *問い合わせ先* せや・ガイドの会 竹見 (☎090-3900-6469) まで。

ホームページ「せや・ガイドの会」で[検索]

QRコード ⇒

